

施工説明書 施工業者様用

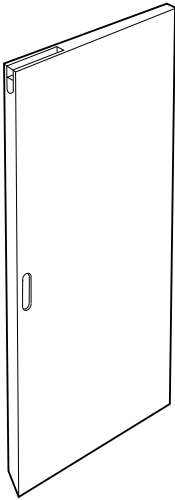
EXTRA 内装引戸ユニット

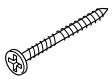
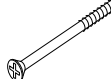
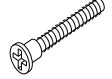
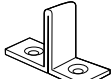
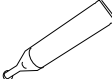
片引 (幅狭用共通)・引違 (3本引・4本引共通)・引込 (2本引・3本引共通)・引分

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉梱包 (扉本体)				枠梱包							
片引	引違 2本引込 3本引込	3本引違 3本引込	4本引違	上枠	片引	引違	3本引違	4本引違	2本引込	3本引込	引分
1	2	3	4		1	1	1	1	1	1	1
				縦枠 (カバー付)	1	2	2	2	1	1	—
				戸当枠	1	—	—	—	1	1	2
				方立枠	1	—	—	—	1	1	2
				鴨居 レール	1	1	1	1	1	1	1
				召合せ クッション	—	—	—	2	—	—	2
				下枠梱包							
				下枠	1	1	1	1	1	1	1
				Yレール	1	2	3	2	2	3	1

部品梱包	調整ビス	躯体取付ビス	枠組立ビス (細)	枠組立ビス (太)	ビスキャップ	関止 (引分専用)	接着剤
	 (4.5×47mm)	 (4.2×62mm)	 (3.4×50mm)	 (5.0×50mm)			
片引	6	14	4	8	8	—	1
引違・3本引違・4本引違	4	12	—	8	—	—	1
引込	6	14	4	8	8	—	1
引分	8	22	8	8	16	1	1

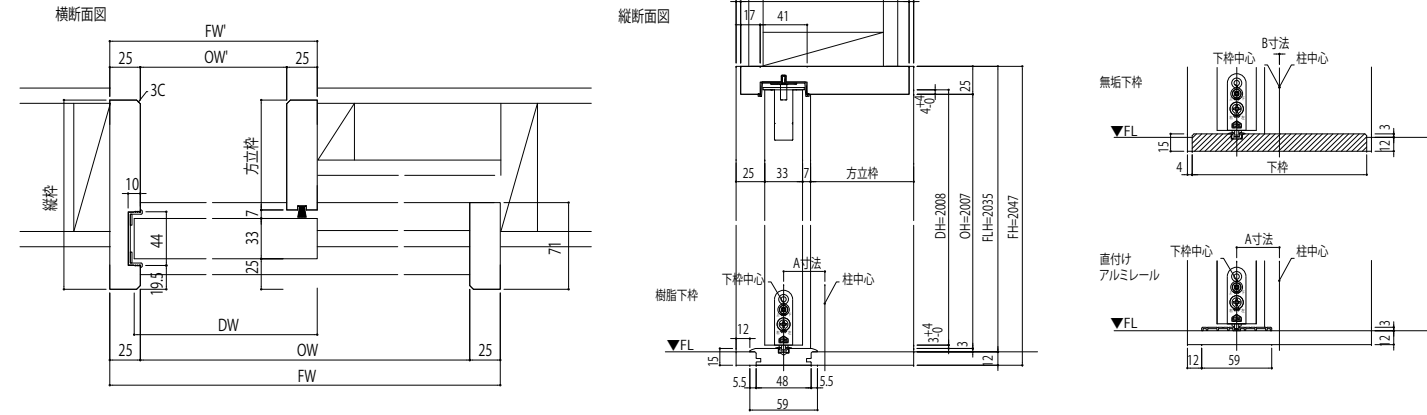
ケーシング梱包 (ケーシングタイプのみ)					
ケーシングSTタイプ ※固定枠には付きません。	STタイプ	縦 (4)		横 (2)	

※ 3本引違・2本引込・3本引込にはケーシングタイプの設定はありません。

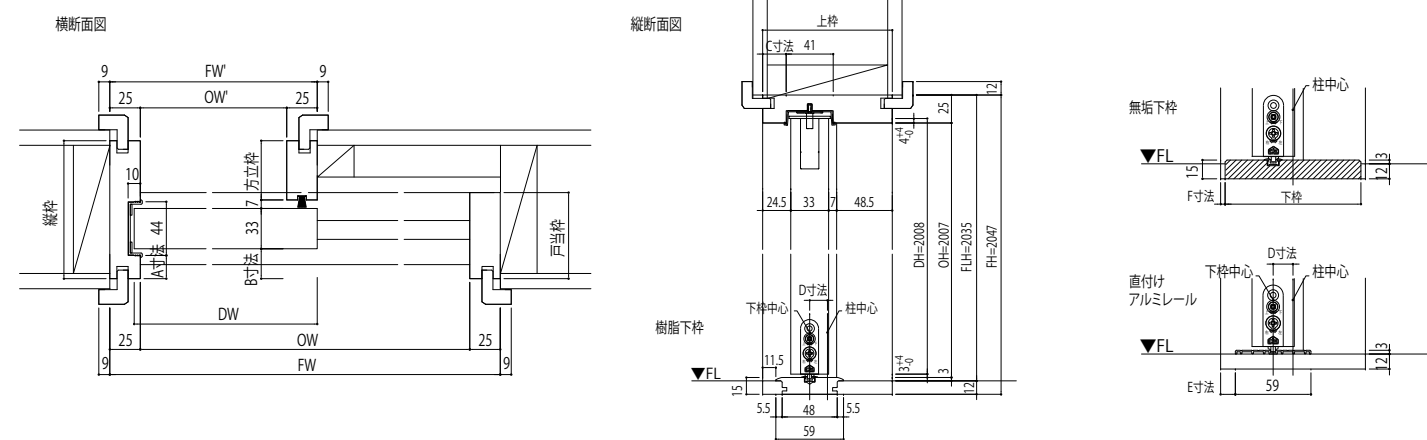
スタンダード (固定枠・ケーシング枠)							
サイズ	片引	引違	2本引込	3本引込	3本引違	4本引違	引分
FW	1185・1450・1650 (トイレのみ)	1650	2490	3240	2400	3260	3440
FH	2047						

納まり図

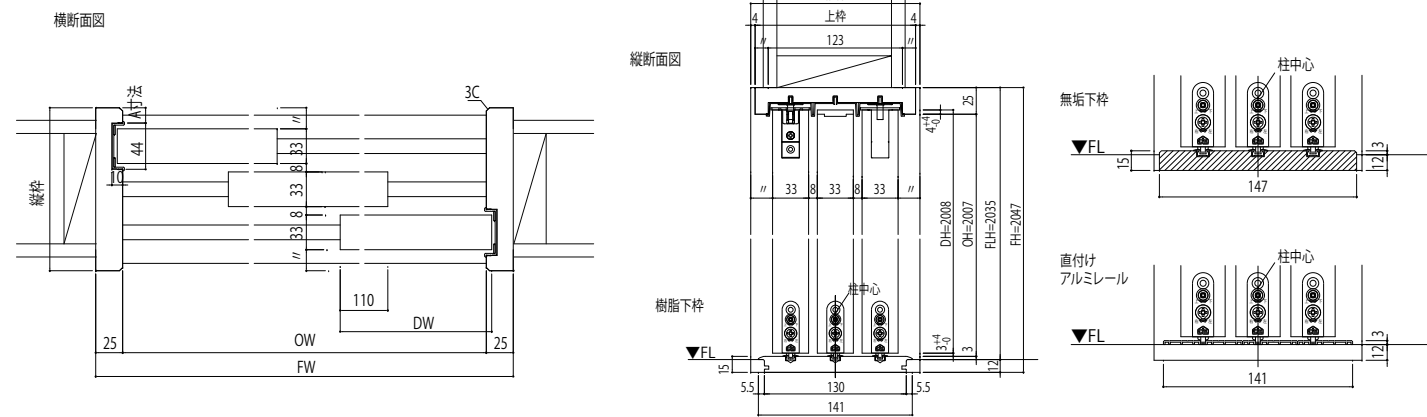
●内装ドア片引(Yレール)/固定枠



●内装ドア片引(Yレール)/ケーシング枠

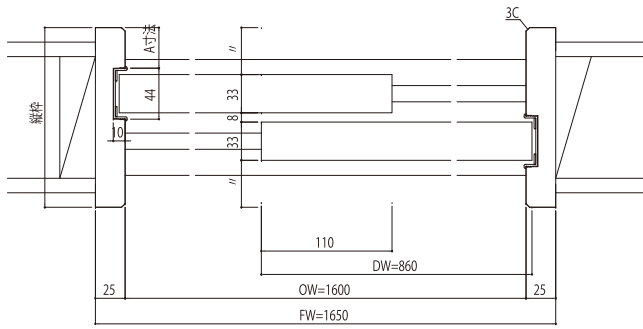


●3本引違 Yレール/固定枠

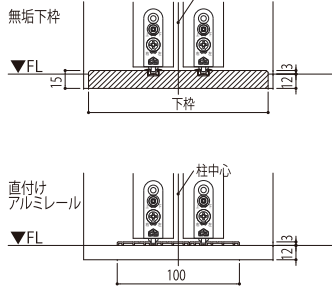
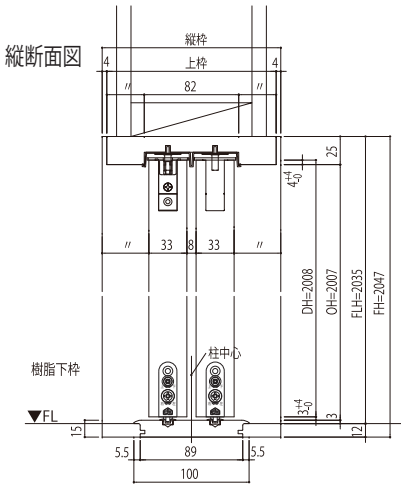


●内装ドア引違(Yレール)/固定枠

横断面図

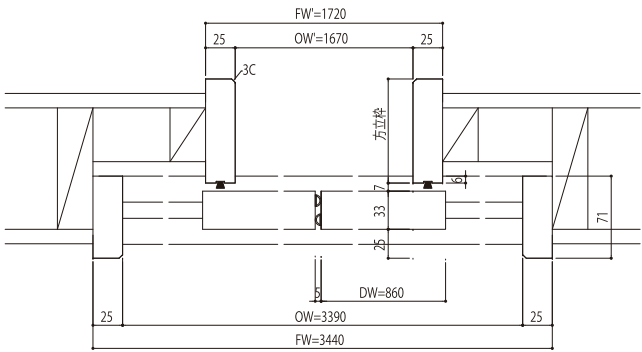


縦断面図

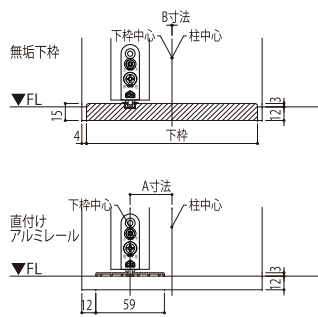
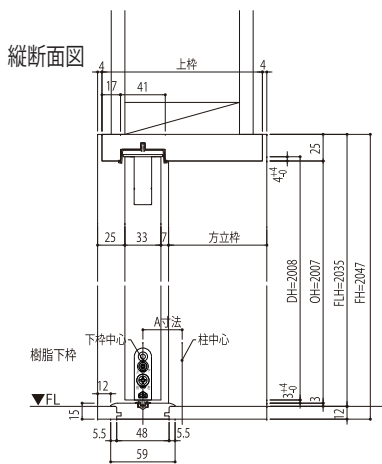


●内装ドア引分(Yレール)/固定枠

横断面図

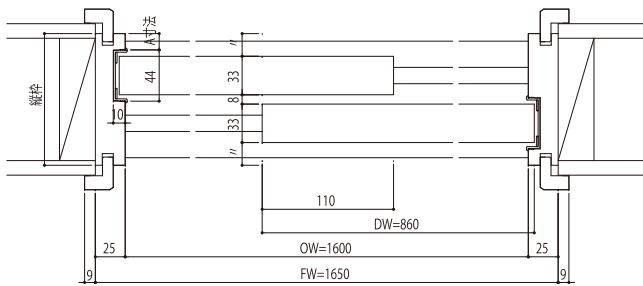


縦断面図

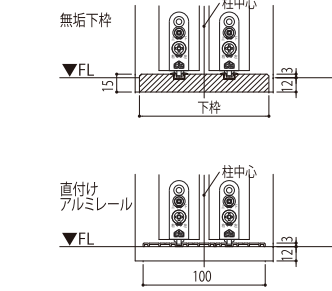
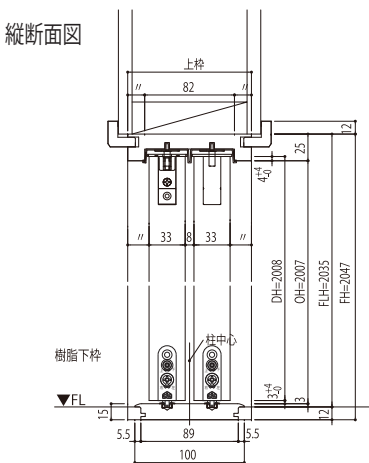


●内装ドア引違(Yレール)/ケーシング枠

横断面図

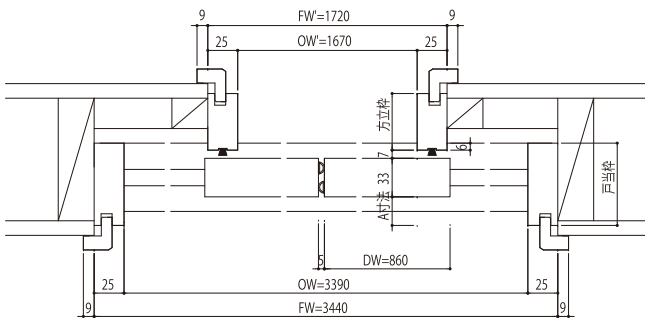


縦断面図

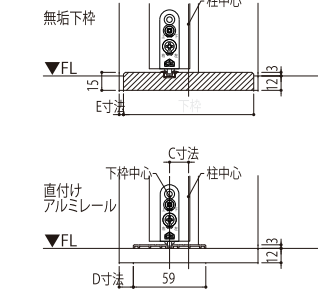
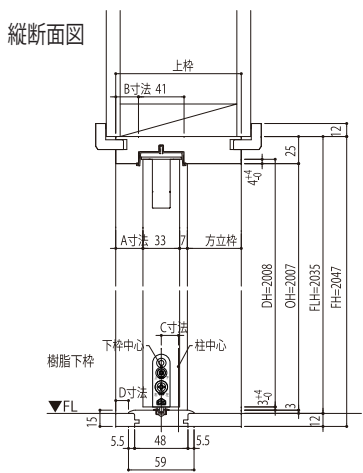


●内装ドア引分(Yレール)/ケーシング枠

横断面図

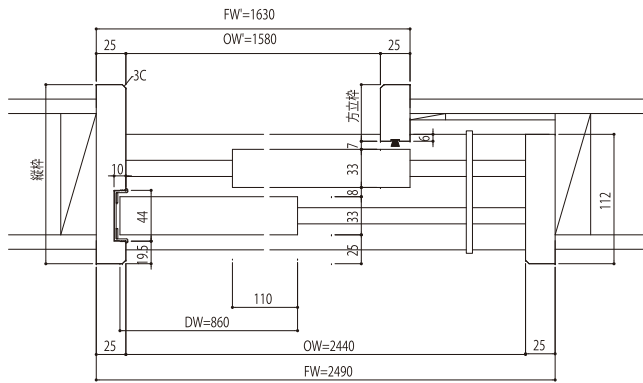


縦断面図

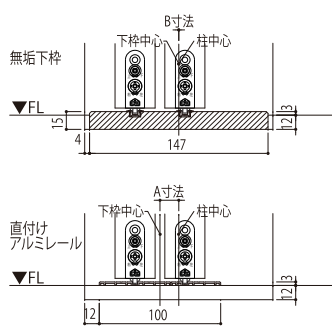
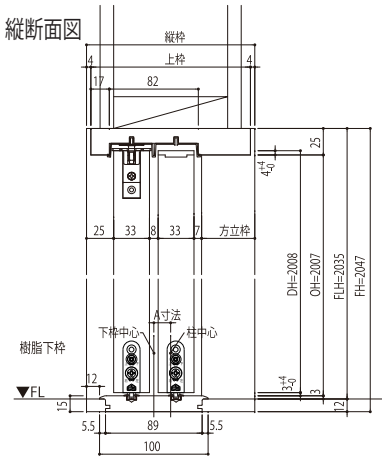


●内装ドア2本引込(Yレール)/固定枠

横断面図

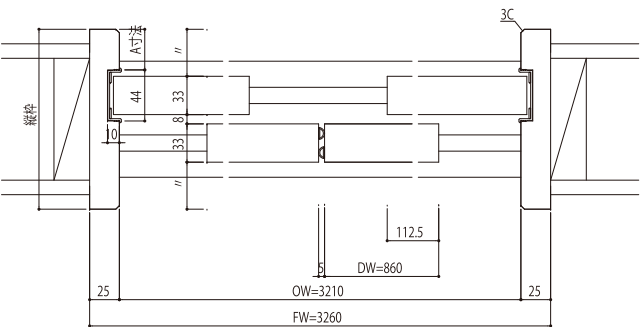


縦断面図

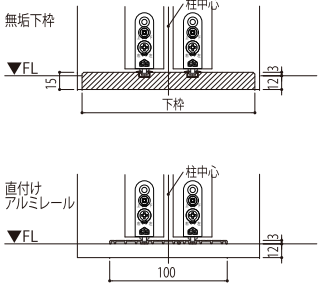
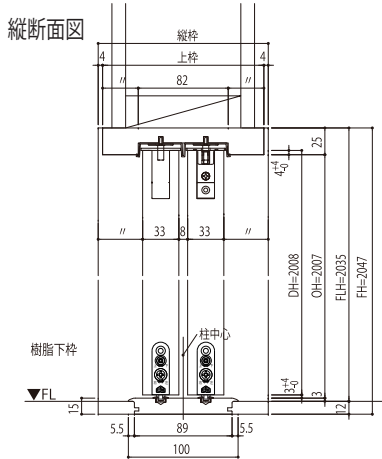


●内装ドア4本引違(Yレール)/固定枠

横断面図

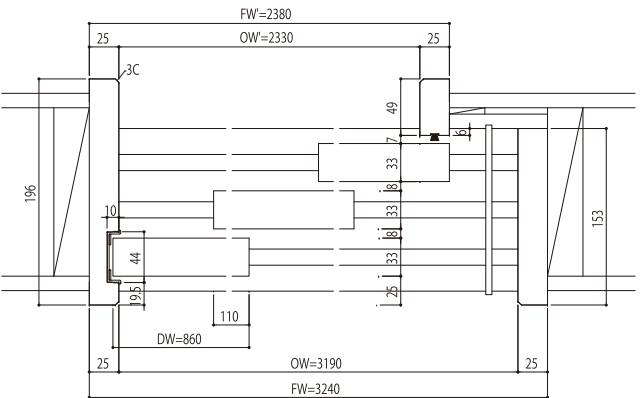


縦断面図

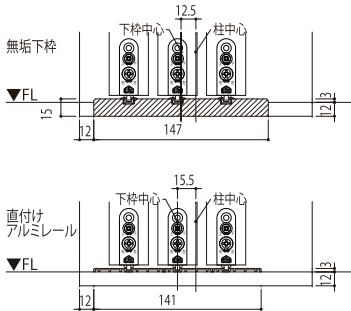
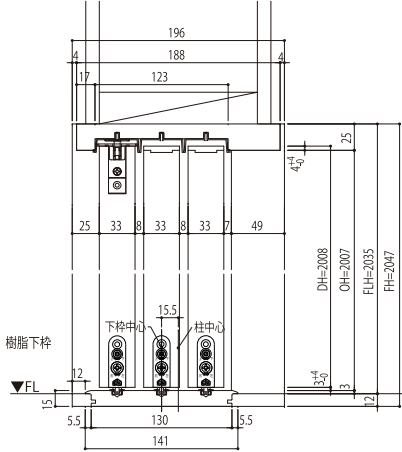


●内装ドア3本引込(Yレール)/固定枠

横断面図

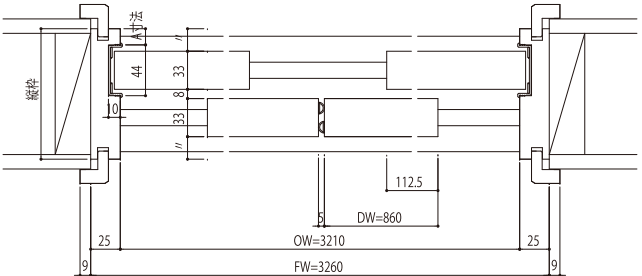


縦断面図

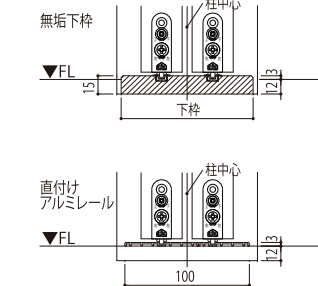
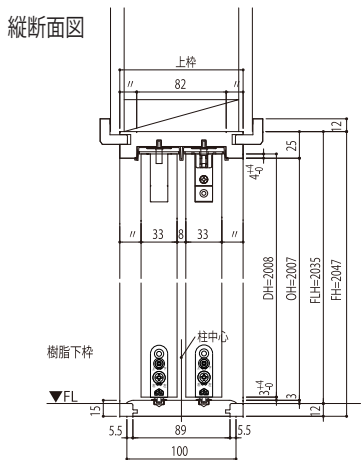


●内装ドア4本引違(Yレール)/ケーシング枠

横断面図



縦断面図



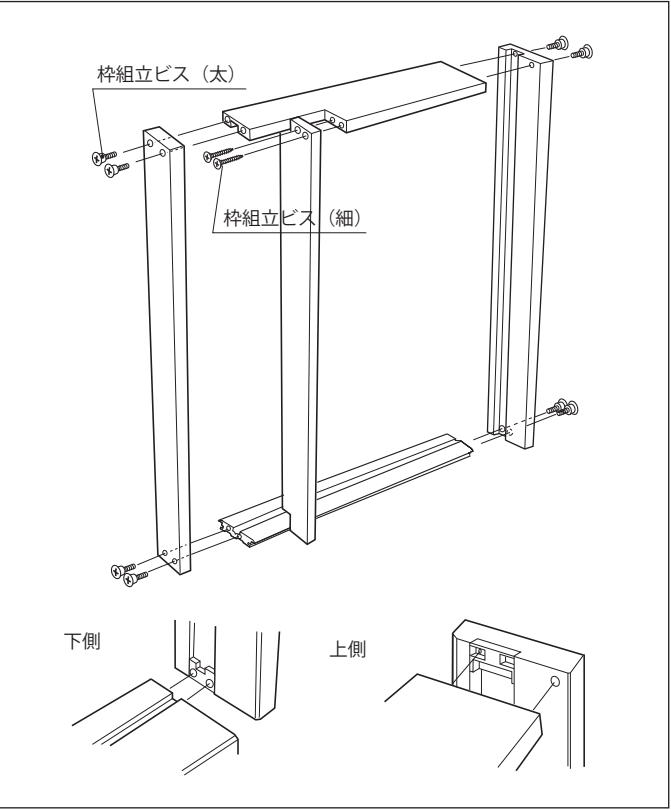
納まり図

●樹脂下枠	固定枠114mm・ケーシング枠113mm		固定枠155mm・ケーシング枠150mm		
	片引・引分 	引違・4本引違 	片引・引分 	引違・4本引違・(3本引違) 	2本引込
●無垢下枠	固定枠175mm				
	片引・引分 	引違・4本引違・(3本引違) 	2本引込 	固定枠196mm	
	3本引込 				
	固定枠114mm・ケーシング枠113mm				
●無垢下枠	固定枠155mm・ケーシング枠150mm				
	片引・引分 	引違・4本引違 	片引・引分 	引違・4本引違・3本引違 	2本引込
	固定枠175mm				
	片引・引分 	引違・4本引違・3本引違 	2本引込 	固定枠196mm	
3本引込 					

取付け順

1. 枠の組立て

- ①縦枠及び戸当枠と上・下枠を、枠組立ビス（太）で締め付けてください。
- ②方立枠は、枠組立ビス（細）で固定してください。



2. 枠の取付け

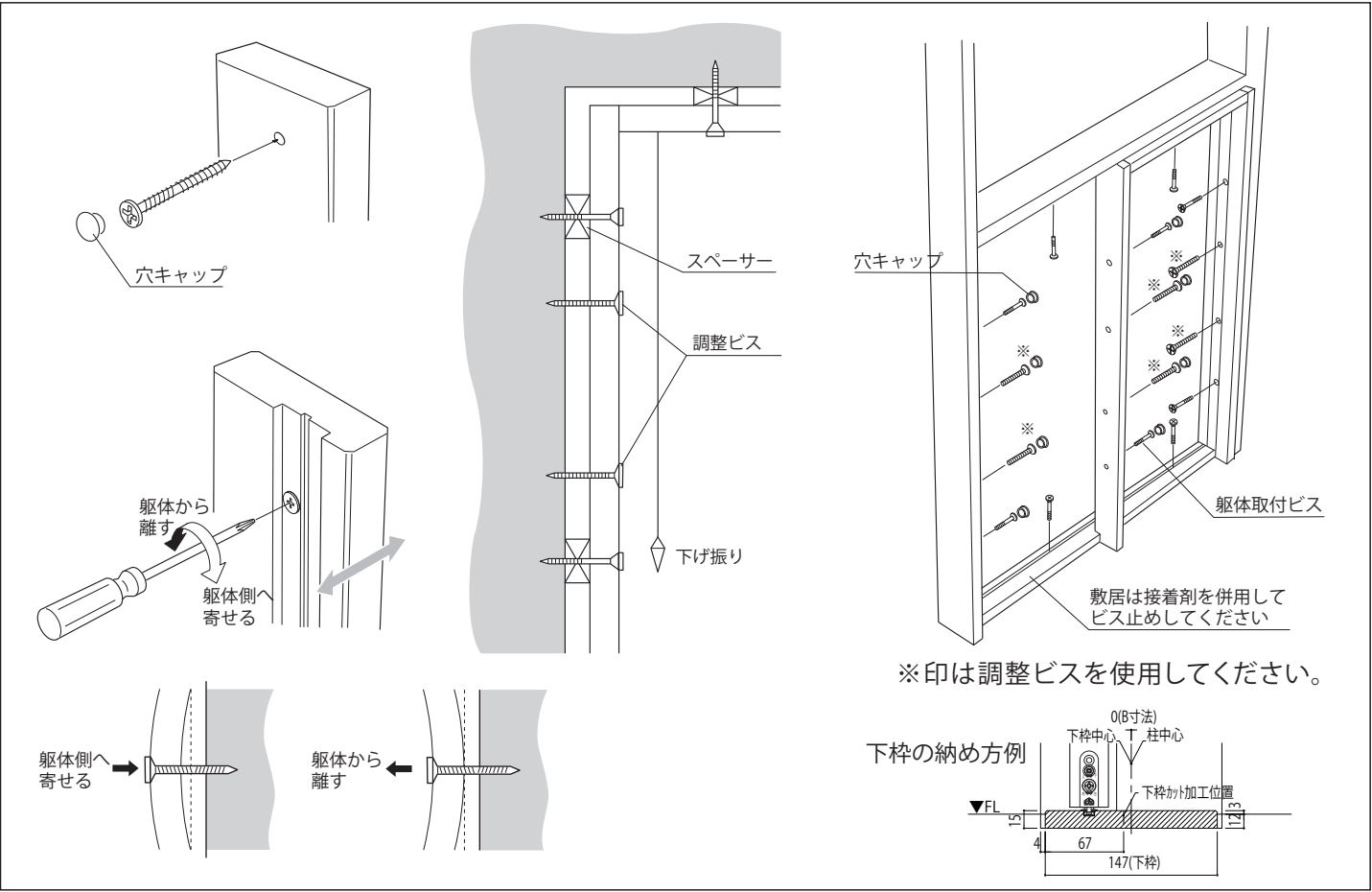
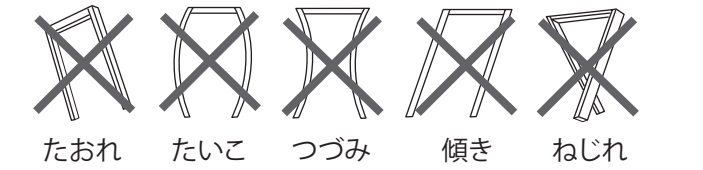
- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付ビスと調整ビスを使って、枠を取り付けてください。
- ③調整ビスの使い方
 - 調整ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
 - 調整ビスで、枠の下穴より躯体に取り付けてください。（プラスドライバー使用）
 - 下げ振りなどで建付けを確認しながら、プラスドライバーでビスを回して調整してください。

注意

調整ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

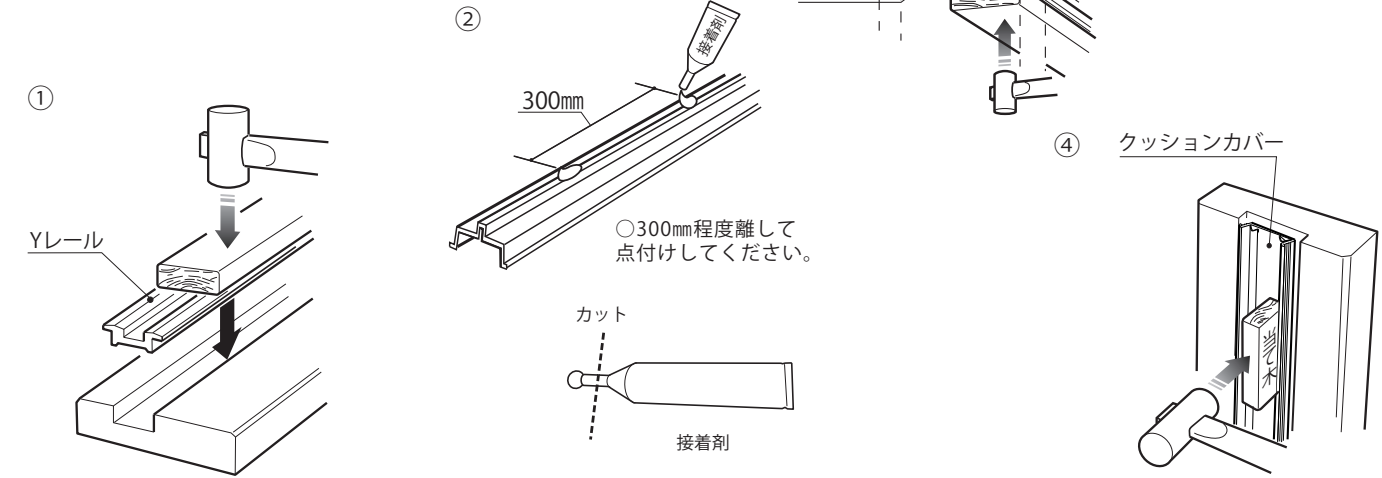
方立枠・戸当枠の固定は穴キャップのクリアランスが取れるまで打ち込んで下さい。

- ④固定の後、方立枠や戸当枠の取付け穴にキャップを挿入してください。
- ※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. 部品の取付け

- ① Yレールを下枠の溝に打ち込んでください。
【注意】必ず当て木を使用してください。
- ② 上溝レールに接着剤を点付けしてください。
- ③ 上溝レールを上枠の溝に取り付けてください。
- ④ クッションカバーを縦枠の溝に付属の両面テープで取り付けてください。



4. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

壁・床の施工が終了した後、現場寸法に合わせてカットしてケーシングを取り付けてください。

- ケーシングの納め方は縦勝式です。
※形状に縦用と横用がありますので注意してください。

縦ケーシングの高さ寸法を決め、カットして取り付けてください。横ケーシングの長さ寸法を決め、カットして取り付けてください。横ケーシングも適正寸法を現物に合わせて確認し、カットしてください。

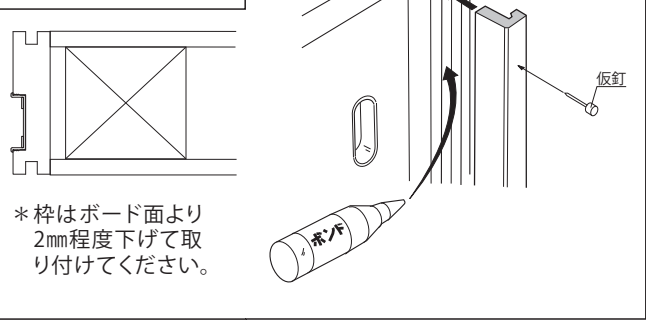
ケーシングには、脚の長さが3種類あります。壁厚など現場仕様に合わせて使い分けできます。

《ケーシング品番》
CX-○2-72・74-□

脚長さ

○	脚長さ
A	10mm
B	16mm
C	23mm

枠のケーシング用溝に接着剤(木工用ボンド・現場手配)を塗布し、固定してください。



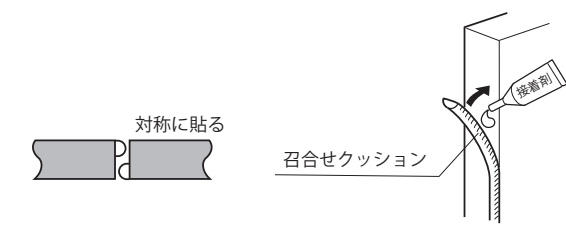
5. 扉の吊込み

- 枠に扉を吊り込んだのち、開閉して状態を確認してください。

注意 扉の保護のため、一度扉をはずし建築工事完了後に吊り込むことをお勧めします。

- ⑤ 4本引違・引分の場合

- 接着剤を併用して、召合せクッションを扉の小口に取付けてください。



引分専用

- ⑥ 引分の場合

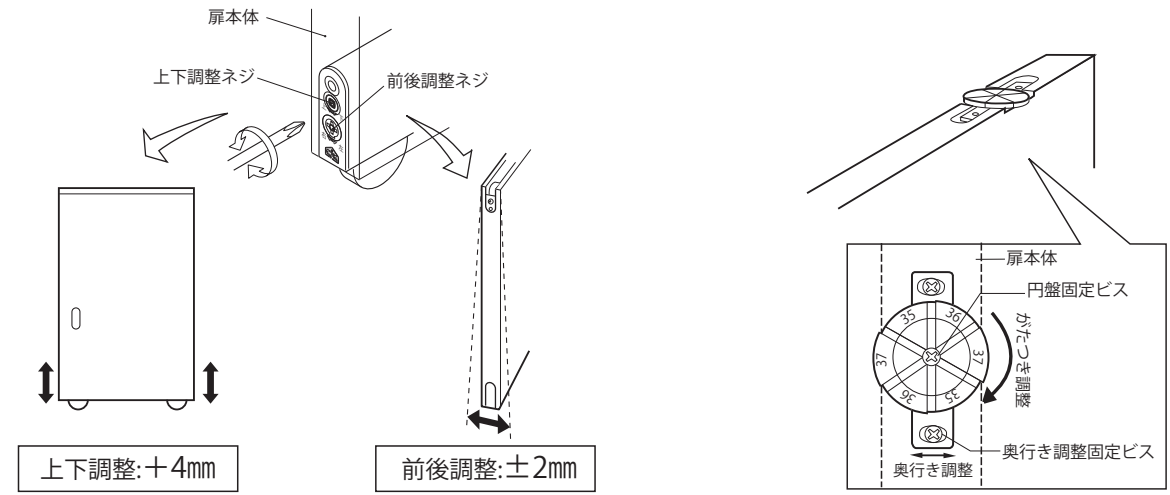
- 閉止めを、レール内に取付けてください。

★取付位置★

注意 閉止めをレール端部に取り付けてください。レール中央部に取り付けると、不具合の原因となります。

6. 建付け調整

- 下戸車で、扉の上下調整と前後調整ができます。
- 前後調整ユニットで、扉のがたつきと前後調整ができます。



※トイレ用の片引には、鎌鉋が標準で付いています。鎌鉋のかかりが悪い時は、枠側受の調整と戸車の上下調整を行って下さい。

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のがたつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、柔らかい布を、水でうすめた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

<使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。